

令和5年度 第2回川崎市社会教育委員会議・中原市民館専門部会 会議摘録

- 【日 時】 令和5年8月1日（火）14時から16時まで
【会 場】 中原市民館第2会議室
【出席者】 鈴木部会長、梶川委員、但野委員、滝沢委員、木村委員、日吉委員
【欠席者】 菊地副部会長、中道委員
【事務局】 福田館長、船津係長、小栗係長
【傍聴人】 0人

専門部会の委員8人中6人が出席し、委員の過半数を満たしており、部会は成立。

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 館長あいさつ
- 4 資料確認
 - 資料1 令和5年度第1回川崎市社会教育委員会議中原市民館専門部会摘録（案）
 - 資料2 令和4・5年度中原市民館専門部会報告書の取りまとめについて（案）
 - 資料3 中原市民館紹介ブース「ふらっと立ち寄ろう中原市民館」の出店について（案）
- 5 令和5年度第1回専門部会の議事録（案）について
- 6 議事（協議事項）
 - ア 令和4・5年度中原市民館専門部会報告書の取りまとめについて
 - イ その他
- 7 その他
- 8 閉会

<会議録・質疑応答>

1 開会

事務局（船津係長）

2 部会長あいさつ

鈴木部会長 本日の進行は日吉委員にお願いする。

3 館長あいさつ

事務局（福田館長）

4 資料確認

事務局（船津係長）

5 令和5年度第1回専門部会の議事録（案）について

事務局（小栗係長） 資料1について説明し、了承を得た。

6 議事（協議事項）

ア 令和4・5年度中原市民館専門部会報告書の取りまとめについて

事務局（船津係長） 資料2及び資料3について説明

梶川委員 コアまつり当日の専門部会委員の参加については、どのように考えているか。

事務局（船津係長） 大きく2通りの参加方法があると思う。一つは、現地の会場に来ていただいてチラシを配布していただいたり説明をしていただいたりということ、もう一つは、市民館で何かの催しに従事していただくということかと思う。企画が固まればチラシもお渡しできる。

梶川委員 チラシをいただければ、文化協会の集まりの際に配布できると思う。

事務局（船津係長） 市民館の会場は、夜間の時間帯しか確保できなかったが、コアまつり自体は終わっても市民館は開館している時間なので、コアまつりに参加された方に来ていただくこともできると思う。

事務局（小栗係長） 急遽の企画ではあるが、今回の審議テーマである「ふらっと立ち寄れる市民館」の第一歩として市民館を知ってもらうという意味でも、審議テーマに即したものではないかと考えている。

日吉委員 コアまつりについて、ほかに意見があるか。

事務局（福田館長） 区役所も急遽決めたところがあるので、コアパークが空いているところということで決めたのだと思う。それを受けて我々も動いているところ。

事務局（船津係長） 今回のコアまつりは、来年度の市制100周年を控えたイベントとして位置付けていると聞いている。その意味では来年が本番になるので、我々も来年は何らかの形で関わっていくか、あるいは中原市民館は来年度は開館50周年、改築移転後15周年となる節目の年でもあるので、何かしらの独自の記念

イベントなどができたらと考えている。その布石として、今年行われるコアまつりにエントリーさせていただいたところになる。皆さまにお断りなくエントリーしたので、必ず参加してくださいとは言えないが、何らかの形で御参加いただけたらと考えている。

梶川委員 コアまつりでは、どんなことを実施する予定か。

事務局（船津係長） まだ情報がほとんど無く、資料に記載された、カラーズフューチャー音楽隊、物販飲食ブース、盆踊りという形でしか示されていない。市民館は、市制100周年体験エリアにブースを設ける予定となっている。2m四方で電源の使用可否は未定と聞いている。

事務局（福田館長） テントを一ついただく。そこで、チラシの配布以外にイベントを実施したい。ステージの内容などは決まっているらしく、ステージで案内をすることはできない。

梶川委員 それならば、私たちは市民館で何かしら実施した方がよいように思う。

事務局（福田館長） その方が落ち着いて実施できるのではないか。

日吉委員 委員には、コアまつりで実施できるアイデアを出していただけるとありがたい。

木村委員 ここで話し合わなければならないことと、館の中で既に決まっていることのベースが分からない。市民館の中で決まっていることがあるのか。

事務局（福田館長） 市民館として決まったものは無い。

日吉委員 市民館の企画案として資料に記載のあるものと、我々に尋ねられていることは、同じということか。

事務局（小栗係長） どちらも、アイデアベースということになる。

木村委員 資料の記載とここでの話し合いの内容を踏まえて、実施する内容を決めていくということか。

事務局（小栗係長） そのとおりだ。

日吉委員 例えば、ラウンジでブラスバンドの方などに協力いただき、音楽をすることを考えたのだが、音を出すと他の利用者に影響がある。そのようなことも可能か確認したい。

事務局（小栗係長） 当日の市民館の利用形態などについても、まだ調べ尽くせていない状況である。出していただいたアイデアが実施可能か、検証するような段取りになる。

日吉委員 アイデアを出すだけでよい状況か。例えば、文化協会さんの御協力をいただいて、着付をするなどのアイデアでよいのか。

事務局（船津係長） アイデアベースから部屋の割り当てまでは、まだ進んでいない。アイ

デアを出した職員も、これから企画書を作成する段階である。

木村委員 資料に記載された部屋は、すべて夜間の時間帯になっているが、例えば、和室などを午後から利用することも無理なのか。

事務局（船津係長） 空き室をすべて確認した結果、資料に記載した夜間の時間帯しか空いていない。

木村委員 限られた時間の中でも、できることはある。関係する部屋に事業のチラシを貼るなど、できる範囲で事前PRをして、このような機会に市民館が行っていることを伝えないともったいない。

梶川委員 どうしても時間がないと思う。着付についても、着物を持って来てくれるならよいかも知れないが、持っていない方に貸すとか、そのようなことも考えないといけない。

但野委員 話を聞いていて、この企画で難しいと思ったのが、ららテラスを越えて市民館まで来るというのが、人の流れとして難しいと感じた。その意味では、一度市民館に立ち寄ってもらってから会場に向かってもらうというのは、とてもよい考えだと思う。場所を知らない、道を知らない、入口が分からないというのが、市民の皆さんなので、まず時間の余裕のある段階で市民館に来ていただいて、その上で、お祭りに参加し、市民館に帰ってきて涼むというような流れができると、市民館の場所も行き方も知ってもらえるのではないかと。

梶川委員 なかはらっぱ祭りは、グランツリーに協力してもらえたので、場所は近かった。

但野委員 それでも難しかった。グランツリーから中原市民館に来てもらうのも難しい。それを考えると、コアパークから、ららテラスを越えて市民館まで来るのは、かなりハードルが高いと思う。だからこそ、市民館に来て、着替えなどをしていただいてコアパークに行く、市民館に戻るといった流れがあると、すごくよいと思う。

木村委員 市民館で作ったバルーンアートを持ってコアパークに行くということも考えられ、それだと良い宣伝になる。

但野委員 先日のイベントでは、バルーンアートを背負っている人が居て、とても目立っていた。バルーンアートであれば、格子前などでできるのでは。スタンプラリーなどもあるとよいかも知れない。

事務局（福田館長） バルーンアートは、コアパークでも実施するらしい。ただ、人気になるだろうから場所が分散するのはありがたいと事務局から言われている。それと、土曜日の夜にラウンジで音が出るイベントを実施するのは、同じ時間帯で市民館の部屋を利用される団体を考えると難しい。

事務局（船津係長） 資料にスタンプラリーを書かせていただいたのは、景品等が必要にな

る可能性があるが、市民館に呼び寄せるツールになり得ると考えたから。

事務局（小栗係長） 先ほど市民館に来ることがハードルと言う話があったが、スタンプラリーを導入することができれば、一種のゲーム感覚で市民館にたどり着いてもらうことにもなる可能性があると思う。

梶川委員 そうだと思う。

滝沢委員 確かに、市民館を見つけるのが楽しくなる可能性がある。

日吉委員 資料を見ると、実習室や料理室、和室は近いので、もし少し早い時間から実施できるのであれば、市民館からコアパークへ行き、市民館に戻って来れるような企画ができるとよいと思う。

事務局（船津係長） 午後の時間帯の部屋を押さえないと思ったが、今は空いていない。

但野委員 グループ室も空いていないのか。

事務局（船津係長） グループ室は空いている。

日吉委員 グループ室が空いているなら、着付ができるのではないかな。浴衣のレンタルなども検討できるのではないかな。

事務局（船津係長） グループ室で浴衣のレンタルをするということか。

日吉委員 浴衣を持っている人は、持って来てもらえばよいと思う。

事務局（船津係長） 着替えの場所として提供するということか。

日吉委員 着付や着付の手伝いをするということ。

梶川委員 先日、文化協会が東住吉小学校の卒業式で、自宅から着物で来られた方の着付の直しをしたが、何人ぐらい着付をしてくださる先生が空いているか。出られるかどうか聞いてみないと分からない。きちんと着付ができる人がいないとうまくいかない。浴衣も譲ってくれる人がいるなら、もらっておくとよいと思う。返却するとなるとクリーニング代が大変なことになる。

木村委員 一つのアイデアでも、できることを探っていけばよいのでは。

事務局（船津係長） いまの着付の件は、できると考えてよいか。

梶川委員 文化協会で聞いてみる。

木村委員 チラシをつくることを考えると、今週中には決めないといけないだろう。

事務局（船津係長） 場所はどうか。

梶川委員 場所も、グループ室のような場所でブルーシートを敷けばできるし、その方がよいのではないかな。

木村委員 当日のアイデアではないが、前回の摘録にもあったが、市民館を知ってもらうことの中の一つに、各部屋が色々なことに使えるということを知ってもらうのも大事なことだと思う。今回は急な話で空いている部屋は限られているが、例えば、

ホールのバックヤードツアーとか、その部屋を最大限に有効活用できるアイデアをこの場を出す。それをブースで配るということもあるのではないか。文化協会にしろサークル連絡会にしろ、知ってもらうためのきっかけを8月26日に設けて、次の御案内をするとか、本当に市民館の良さを知ってもらうためにイベントを周知する機会にするということもできるのではないか。

但野委員 例えば、実習室であれば焼き物ができる。洋服を着せられる人形がある。美術のデッサンができるものがある。すごく沢山のものが詰まっているので、こんなことができるという具体例を示せるようなものがあるのはよいと思う。料理室にしても本当に色々なものがあるのに、料理ができるということしか分からないのではもったいないと思う。

木村委員 市民館の使用は有料だが、近隣で貸しスタジオを借りることを考えれば、かなり安い。

但野委員 絵の具など、汚れるものでも実習室なら実施できる。

木村委員 それに加えて、サークル連絡会や文化協会のように、みんなと一緒に学ぶサークルやグループに入ることもできる。つながっていくことができる館ということを知ってもらうことができる。いまは個人利用ができるので、家族で使うこともできる。普段なかなかできないこと、例えば、知り合いの家族同士で料理室を借り、パーティ的なことをするということもできなくはない。知らなくて利用していない人に対しては、そのような呼びかけができる機会が、ツアーという企画でできたら、8月26日に間に合わなくても、第2弾、第3弾の手を打てる。そのためにも、文化協会やサークル連絡会などの社会教育関係団体にもっと御協力いただけるようにやっていると、市民館の存在意義が示せると思う。

日吉委員 動画と順番が逆だったら、良かったのかも知れない。動画を見てもらって、ツアーができるとよいのかも知れない。

木村委員 今年はいイベントだから。来年、本当のイベントをやればよい。

日吉委員 そこに向けての試みということか。

事務局（船津係長） 市民館ツアーは、コアまつりのブースに立ち寄ってくださった方を、実際に市民館にお連れするイメージで考えている。スタンプラリーは、コアまつりのブースでチラシを配り、記念品がある旨を伝えて市民館への来場者を募るといったアイデア。

日吉委員 市民館へはどのようなルートで行くのか。

但野委員 最短ルートでないと、市民館まで行こうという気にはならないと思う。

事務局（船津係長） 例えば、時間を決めて集合してくださった方を市民館までお連れする

のほうか。

但野委員 どこにお連れするのか。

木村委員 グループ室が空いているなら、2階に上げるのではなく、1階の方がよいのではないか。

日吉委員 ルートや市民館にお連れした後のことを検討しておいていただくとよいように思う。

木村委員 マンションの理事会は、今月分は終了しているのか。

事務局（福田館長） 8月に入ったので、これから開催になる。

木村委員 市民館前のスペースを使うのは可能か。

事務局（福田館長） 理事会に諮れば、大丈夫だと思う。

木村委員 市民館内に誘導するためのそこで何かができると思う。

事務局（福田館長） なかはらっば祭りが実施された際、市民館前でチラシを配布するというのは、過去にも例があるので大丈夫だった。行政でイベントを実施する場合には、反対されない傾向にある。

木村委員 実際に行くかは分からないが、予め了解を得ておかないと、実施することが難しくなるのでは。最低限、チラシの配布は行った方がよいと思うので、エントリーはしておいていただいた方がよい。

事務局（福田館長） コアまつりの開催にあたり、市民館もサテライトでイベントを実施するので、市民館前のスペースを使うというイメージでよいか。

日吉委員 市民館でイベントを実施する際の予算はどうなっているのか。

事務局（船津係長） 予算と人員で言えば、人員の方が厳しい。予算は、消耗品のようなものであれば、捻出は可能と考えている。

但野委員 小さい子向けに、水の入ったヨーヨーを配れたら目を引くと思う。

事務局（船津係長） 予算としては可能かも知れないが、ヨーヨーを配る人員をどうするかを検討する必要がある。

鈴木部会長 水入りのヨーヨーなら、100個もあれば十分ではないか。

事務局（船津係長） 市民館職員以外で協力いただける方がいれば、成立する可能性はある。

但野委員 予算があるなら可能だと思う。

事務局（船津係長） 予算は何とかなる。

日吉委員 現時点で、コアまつりに参加できる委員の人数が分かった方がよいか。

事務局（船津係長） 分かるとありがたい。

日吉委員 現時点で、皆さん出席できそうか。

- 滝沢委員 地元の町会の祭りがあるが、出席にしてもらって構わない。
- 但野委員 小杉小で予定があるので、行ったり来たりになる。
- 梶川委員 私自身は出席できるが、着付の件は聞いてみないとわからない。
- 日吉委員 では、コアまつりの件については、これで一度締めさせていただいて、続いて市民館の紹介動画の作成について話を進めたい。
- 木村委員 事業ではできないのか。素人が作成するよりも指導者がいた方がよいのではないかな。それが市民館の紹介動画になるか分からないが、受講した方々に協力してもらって、動画内に名前を出すなど工夫をして、協力を募り、今すぐを実施するのではなく、市制100周年や市民館50周年に向けて作成するのはどうか。
- 事務局（船津係長） 動画は複数あってもよいのではないかな。専門部会として作成するという方法も一つのアイデアとしてあるのではないかな。
- 日吉委員 前日も話をしたと思うが、下河原小学校で子どもたちが撮影する機会があった。動画撮影をサポートする講師に来てもらって、大人が撮影するのではなく、先生に教えてもらいながら、子どもたちに撮影を考えてもらうという方法もあるのではないかな。
- 木村委員 子ども会議はどうか。
- 但野委員 何人かに声をかけることはできると思う。
- 木村委員 来年のイベントの際に、流してもらえたらよいのではないかな。
- 日吉委員 今回の専門部会で終わりではなく、来年に向けて子どもたちに向けた講習会を開催することにしてもよいと思う。これからワーキンググループが作れば、そのような話し合いができると思う。
- 事務局（福田館長） 今年度は、プレイベントとしてコアまつりに参加する。動画の撮影は継続的に行う。完成すればできあがったものを報告し、そうでなければ、方向性をまとめる。それに加えて、これからのところがあると、報告書としての完成形ができあがるのではないかな。深められるかは分からないが、あと1回議論する機会があるので、イメージしていただきながら、今回はそれを中心に議論するというのもあると思う。
- 木村委員 次回には、思いつかなかったというのも有りとして、それぞれの委員が、こんなことができたというアイデアを持ち込むというのはどうか。
- 事務局（福田館長） そのために26日のコアまつりのイベントをうまく使っていただく。これまでに無い取り組みだから、皆さんも、この市民館を使ってみてどうかという感想もあると思うし、こんな声を聴いたという参加者の声もあると思う。
- 木村委員 「ふらっと立ち寄れる市民館」というイメージがそれぞれにあると思う。そし

て、それぞれに市民館がこのようになって行ったらよいというものがあると思う。資料にはアイデアと書いてあるが、具体的にこのようにするというところまでのものではなくても、今ここが弱いというところを指摘していただだけでもよいと思う。

日吉委員 市民館を知っている人は使えているけれども、知らない人は使えていない。26日のコアまつりで知ってもらって、その先、どのように立ち寄ってもらおうかという解決を皆さんで考えてもらうということだと思う。

事務局（小栗係長） これまで議論していただいていたのは、「ふらっと立ち寄れる市民館」の入口の部分にあたる、いかに市民館を知ってもらうかという部分だと思う。そこから「ふらっと立ち寄れる市民館」にするにはどうしたらよいかという議論として、これまでは、空き会議室を活用できないかとか、文化協会さんやサークル連絡会さんに御協力いただいて、一般の方が立ち寄っても構わない場合は、そのような表示をして参加していただく、ラウンジで休んでもらう、ラウンジで時間を過ごしていただくとチラシに目が行って、講座やイベントの参加につながるのではないかなどのアイデアを出していただいていたと思う。これまでは市民館をどう知らせるかという議論が多かったようにも思うが、そこから「ふらっと立ち寄れる市民館」にするためにはどうするかという議論に移行していくとよいかと思う。

日吉委員 次回は、どうやったら市民館に来やすくなるかというところを皆さんに議論してもらえるとよいのではないかと思う。そこを宿題と言うか、そんなことを考えながら26日に参加してもらえるとよいのではないか。

事務局（船津係長） 報告書のまとめ方においては、今御指摘いただいたとおり、前段が知ってもらうための取組というところ、後段が今回のテーマに即した「ふらっと立ち寄れる市民館」になるための取組という形になる。前段があつて後段が無いと厳しいと改めて思った。「ふらっと立ち寄れる市民館」に向けての取組についても議論していただきたい。

日吉委員 「ふらっと立ち寄れる市民館」については、26日のイベントと動画撮影を踏まえて、議論できればと思う。

木村委員 資料2の裏面に次回の議題として「専門部会報告書の予定稿の確認」とあるが、まだ予定稿までは行かないと思うので、それは消していただきたい。

梶川委員 着付については、文化協会の集まりが近日あるので、その際に聞いてみる。

日吉委員 26日に向けたワーキングをどうするか。

滝沢委員 いま日程を決めてもらえれば、参加の可否がわかる。

事務局（船津係長） 資料に列挙されているイベントは、現時点で担当1人しかおらず、それぞれが関係団体に声をかけ始めている段階。委員の皆さんから手伝いをしていただけのものであるのなら、とてもありがたい。記載内容以外に出していただいたアイデアが浴衣の着付ということになる。企画の実施に当たり中心となる人物が必要となるので、全体としての会合は必要ないかも知れないが、それぞれの企画では集まりはあってもよいと思う。

木村委員 コアパークのブースで従事する人が、他で何をやっているか分からないのでは話にならない。全体で共有はしないとまずい。それぞれ何かの専門家というわけではないので、どの企画にも入れる状態だと思う。例えば、それぞれの担当の職員も入った会合を設け、そこで個別の打合せをして、その情報を全体に共有することまでできるとよいのではないか。

日吉委員 26日の前に、1回だけでもあるとよいと思う。

木村委員 チラシを市民館側で作るにしても、全体が分かって作れるから、それが一番効率的だと思う。

梶川委員 着付をするにも、どの程度の来場者が来ることになるか不安がある。

木村委員 先着何名という書き方もある。そのためにも話し合いが必要だと思う。どういったチラシを作って欲しいのかということにも関わる。協力いただける方の人数、希望もあると思う。話し合うしかないし、専門部会委員の中でも手伝える人などの役割分担を決める必要がある。

事務局（船津係長） 何日がよいか。8日、9日、10日のいずれかではいかがか。

（挙手にて8日午後実施と決定）

イ その他

日吉委員 では次に進みたいと思う。議題はその他になるが、動画撮影のワーキンググループに参加してもよい方はいるか。

梶川委員 まずは26日のコアまつりの方を考えたい。

日吉委員 できれば、コアまつりについても動画を残せるとよい。

但野委員 もしお子さんで参加できる方がいたら、その子にお願いして撮ってもらうというものもある。

事務局（船津係長） 何をするという話をする前に、メンバーを先に決めていただいた方がよいのではないか。

木村委員 報告書を作成することを考えると、なかほらコアまつりの当日は皆さんができる限り参加するというのは良いと思うが、報告書をまとめる段階では、コアまつりチームと動画撮影チームに分かれて役割分担をしながら話し合いをしていかない

と難しいのではないかと。事務局にまとめてもらうわけにはいかない。

事務局（船津係長） ある程度は事務局でまとめることはできると思う。コンテンツや素材が無いとまとめられないので、何かしらの結果が必要だと思う。

滝沢委員 これまでは、個々の委員が感想などを書いてきたが。

事務局（小栗係長） 報告書は、色々なまとめ方があると思う。今回は、コアまつりへの参加や動画撮影の試みなどがあるので、そのようなものを中心に報告書をまとめたかどうかを考えている。

日吉委員 26日のコアまつりでの動画撮影は、私自身も撮影できればと考えているが、但野委員にも御協力をいただきながら進めたいと思う。コアまつりと動画の撮影について取り急ぎ進め、それが「ふらっと立ち寄れる市民館」につながるという報告書のまとめになると理解してよいか。

事務局（船津係長） まずは市民館を知ってらもうというところの取組として、コアまつりへの参画と動画の撮影がある。「ふらっと立ち寄れる市民館」というところからすると、将来的な視点として、こういうこともできるのではないかとということ併せて提言していただくということかと思う。

日吉委員 実際にやったことだけではなく、先を見ているということが伝わる内容になればと思う。他に何かあるか。なければ、事務局にお返りする。

7 その他

事務局（船津係長） 事務局から第3回の日程についてお諮りしたい。

事務局（小栗係長） 第3回の日程については、第1回に配布した第2回の日程調整資料を、第3回に改めた上で調整することを考えている。皆さんの日程の調整結果を取りまとめた上で、お伝えしたい。

事務局（船津係長） 次は8日に集まってくれたいが、ワーキンググループという形になるので、御了承願いたい。他に無ければ、以上で第2回中原市民館専門部会を終了とする。

8 閉会